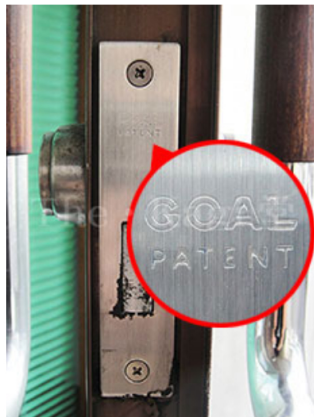


⚠ 取付け作業前にご確認下さい。

- ・錠前製品の特質上「未開封」「未使用」であっても、返品交換をお受けできない商品がございます。必ず、実際に設置されている錠前と、交換用製品の形状や寸法が適合しているかご確認下さい。
- ・作業中はストッパーなどでドアを開けた状態で行って下さい。
- ・取付けされている固定ネジは再利用します。無くさないよう保管して下さい。



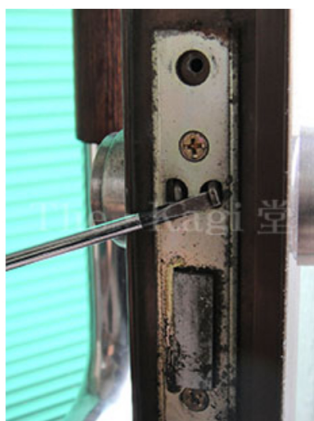
1. 店舗ドアで使用されていることが多いGOAL PSタイプのシリンダーを交換方法を説明していきます。



2. ドア側面にある錠ケースの刻印は、「GOAL」のみの場合と「GOAL PATENT(パテント)」の場合があります。



3. シリンダーを外していきます。開いたドア側面にあるフロントプレートの2か所の固定ネジをプラスドライバーで外します。



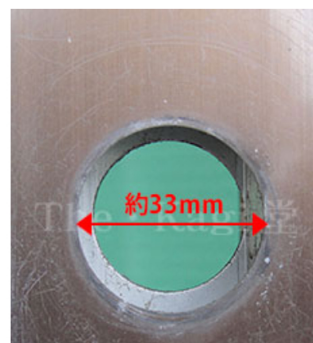
4. フロントプレートを外すとシリンダーを固定しているピンが現れます。シリンダー側のピンをマイナスドライバーで引抜きます。引抜いたピンを再利用します。失くさずに取っておきましょう。



5. シリンダーをつまんで、45度にかたむけます。※ドアの勝手仕様によって、かたむける方向が違いますので、注意して下さい。

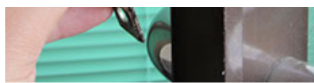


6. [手順5] の状態のまま引抜きます。





7. 室内側サムターンもシリンダー同様に、固定ピンを外し、かたむけながら引抜きます。



8. 錠ケースの2か所の固定ネジをプラスドライバーで取外すと、ドアの側面から錠ケースを引抜きます。



9. 図は、ドアに開けられた取付け穴（切欠き穴）です。現行品は「直径33mm」ほどです。切欠き穴が「33mm以下」の場合は、〔手順10〕をご確認下さい。



10. 旧式タイプだと、ピンの代わりにビスで留められている場合があります。この場合、現行のシリンダーが既存の錠ケースに対応できませんので、必ず錠ケースがセットになっている商品をお求め下さい。



11. 取外したシリンダーが図のように、直径が約29mm以下の場合は切欠き穴に加工が必要になります。



13. 図のように切欠き穴が「直径33mm以下」の場合は、切欠き穴に広げる加工が必要になります。



12. 旧式の切欠き穴を加工していきます。シリンダー 旧式のシリンダー、サムターンの外し方は〔手順5〕～〔手順8〕と同じです。



14. 切欠き穴が33mm程になるまで丸ヤスリ等で削ります。



14. 新しい錠ケースを入れ、取外した時と逆の手順で付け直します。



13. 〔手順5〕と同様に45度に傾け、切欠き穴に合わせます。
※シリンダーが入らない場合は、〔手順11〕を確認して下さい。



14. 錠ケースに合わせ、シリンダーを垂直に直します。



14. 最後にキーで動作確認して完了です。

